



身近な立場で暮らしを支える

民生委員は、地域の人の暮らしを支えるボランティアです。現在、全国で約23万人、久留米市内では566人が活動しています。子どもや子育て世代の支援を行う児童委員も兼ね、子どもから高齢者まで幅広く暮らしを支えています。地域から選ばれ、任期は3年です。今年の12月1日(木)に一斉改選が行われます。

話して顔の見える関係を

民生委員の主な活動は、一人暮らしや高齢者の世帯などへの訪問、子どもたちや親への声掛けです。コミュニケーションをとることで、顔の見える関係を築きます。会話の中から困り事が分かって、地域包括支援センターなどの関係機関につながることもあります。守秘義務

務があるので、安心して相談できます。地域や学校の行事に参加してつながりを広げたり、高齢者の集いの場や子育てサロンを開催したりする人もいます。生活状況や抱える悩みは、人それぞれ。民生委員は、相談に適切に対応するため、研修や月1回各地区で開かれる定例会で、他の民生委員と情報共有や関係機関からの研修などで知識の習得に努めています。

暮らしの中で困り事があって、誰かに相談したいときや制度を利用したいときは、1人で悩まず、身近にいる民生委員・児童委員に相談してください。
◎地域福祉課(☎0942・30・9174、FAX0942・30・9752)

信頼関係を大事に

民生委員になって3年目です。声を掛けてもらったときは、やってみてダメだったら、そのときに考えようと委員を引き受けました。私は仕事をしていますが、仕事に支障のない範囲で、できることをやっています。民生委員の先輩と話すのも勉強になり、自分にもプラスになるので引き受けてよかったと思います。活動する上で大切にしているのは、

声掛け。顔を知ってもらうことで、安心して話しやすい関係を築けます。訪問だけでなく、電話や道端でも話し掛けています。行政の制度を知らない人も多いので、相談してもらえるように信頼関係が大事なんです。一緒に考えて解決できたときはうれしいです。ちょっとした困り事や何かあったら気軽に相談してもらいたいと思っています。



日吉地区 民生委員・児童委員 村田美和さん
民生委員1期目。夫と自営業を営みながら活動をしている



試験区分を拡大、採用人数も増

久留米市は、知識や能力、経験を生かして、まちづくりを進める熱意ある人を募集します。毎年秋期に募集していた民間等経験枠を夏期に実施。採用人数は、昨年度の34人より増加して65人程度を予定しています。試験区分も拡大して、幅広い人材を求めます。事務職Bは、論文試験とSPIで受験できるの、民間企業との併願がしやすい試験区分となっています。

なります。必ず、受験資格や試験内容などの詳細をまとめた試験案内を確認してください。受験申込書や試験案内は、市ホームページからダウンロードできます。郵送請求も可能です。
◎人事厚生課(☎0942・30・9056、FAX0942・30・9706)



市民に寄り添った対応が求められます

経験を積み自分の考えを広げる

社会福祉士の経験を生かしたいと市役所を選びました。現在、認知症予防に関する業務を担当していて、市民向けに予防講座開催や理解を広めるための施策の見直しを行っています。業務以外にも、保健所の応援など、さまざまな分野で経験を積むところが魅力だと感じています。自分の考えを広げることできます。将来、自分の意見を施策に反映できるよう成長していきたいです。



長寿支援課 松嶋祐一さん

区分 (大卒枠)	予定人数
I種	
事務職 A	20人
事務職 B	16人
事務職 (社会福祉士)	2人
情報職	2人
文化財職 (埋蔵文化財)	1人
土木職	4人
建築職	1人
機械職	2人
獣医職	1人
保健職	1人
II種	
保育職	5人
区分 (民間等経験枠)	予定人数
I種	
事務職 (一般事務)	5人
事務職 (福祉)	2人
土木職	3人